



連絡先

内科外来TEL:0853-20-2381
 病棟(A病棟6階)TEL:0853-20-2490
 医局TEL/FAX:0853-20-2580
 E-mail :koka-nai@med.shimane-u.ac.jp

専門分野:呼吸器疾患全般、がん薬物療法
 資格:総合内科指導医、呼吸器専門医
 がん薬物療法指導医

HPアドレス: <https://shimane-u-pulmonary-oncology.jp/>

スタッフ



栗本 典昭 診療教授

専門分野:気管支鏡診断
 呼吸器疾患、肺がんの診断
 資格:気管支鏡指導医
 呼吸器外科認定登録医
 がん治療認定医



副診療科長・病棟医長
濱口 俊一 助教

専門分野:呼吸器疾患、肺がん
 COPD、気管支喘息、間質性肺炎
 睡眠時無呼吸症候群
 資格:総合内科専門医
 呼吸器専門医
 気管支鏡専門医



外来医長
津端 由佳里 講師

専門分野:腫瘍内科、肺がん、
 乳がん、がんの薬物療法全般
 資格:総合内科専門医
 がん薬物療法指導医
 呼吸器専門医



沖本 民生 助教

専門分野:呼吸器疾患、肺がん
 COPD、気管支喘息、間質性肺炎
 睡眠時無呼吸症候群
 資格:総合内科専門医
 呼吸器専門医
 がん薬物療法専門医



濱口 愛 診療助教

専門分野:呼吸器疾患全般
 がん薬物療法
 資格:総合内科専門医
 呼吸器専門医
 気管支鏡専門医



堀田 尚誠 助教

専門分野:呼吸器疾患全般
 がん薬物療法
 資格:総合内科専門医
 呼吸器専門医
 気管支鏡専門医



中島 和寿 助教

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法
 資格:総合内科専門医
 呼吸器専門医
 気管支鏡専門医



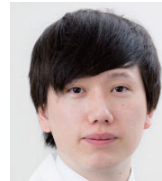
天野 芳宏 医科医員

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法
 資格:内科認定医
 がん治療認定医
 結核・抗酸菌症認定医



中尾 美香 医科医員

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法
 資格:内科認定医
 気管支鏡専門医
 結核・抗酸菌症認定医



白築 陽平 医科医員

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法
 資格:
 内科認定医



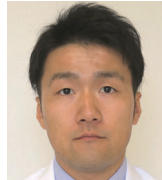
梅本 洵朗 医科医員

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法



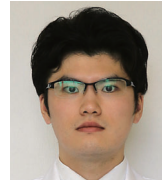
小林 美郷 医科医員

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法



幡 高次郎 医科医員

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法



御手洗 裕紀 医科医員

専門分野:
 呼吸器疾患全般
 がん薬物療法



竹山 博泰 診療教授

専門分野:慢性咳嗽、
 気管支喘息、COPD、
 間質性肺炎、肺結核
 非結核性抗酸菌症
 資格:呼吸器指導医
 アレルギー指導医
 結核・抗酸菌症指導医

診療内容

呼吸器疾患全般ならびに、がんの薬物療法に関する診療を行っています。県内では有数の呼吸器専門施設として、多くの呼吸器患者さんを受け入れ診療しております。最先端技術の導入と確かな手技により、確実・安全な診断が可能です。その結果はプレジジョン医療と言われる、正確な診断にもとづいた、最新、最良の治療を個々の患者さんに提供することに繋がっています。

特色

診断困難な症例や難治性疾患について、各領域の専門医による最新、最適な治療を提供します。全国トップレベルの気管支鏡指導医による精度の高い気管支鏡診断が可能です。気管支鏡検査は麻酔薬を適宜使用し、苦痛の少ない検査を行います。局所麻酔下で行う胸腔鏡検査で、原因不明の胸水診断を行っています。気管支鏡を用いたサーモプラスティによる重症喘息治療が可能です。慢性の呼吸器疾患については、最先端の機能検査によって、病状の把握を行い治療に反映します。化学療法内科としては特に肺がん、悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍、転移性肺がん、乳がん、原発不明がんについて専門的な抗がん剤治療、分子標的治療、外来化学療法を行っており、セカンドオピニオンも受け付けております。また、一人ひとりのがんの個性(遺伝子)を明らかにし、治療へつなげる「がんゲノム医療」に関する相談も受け付けています。肺がんは難しい病気ですが、効果が高い分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬が次々と承認されており、当科では最新の治療を提供することが可能です。

診療体制

外来、病棟において呼吸器疾患、悪性腫瘍の診療を行っています。患者や家族の希望を尊重し、ソーシャルワーカーやリハビリテーション部(理学療法士/作業療法士/言語聴覚士)を含めた多職種メンバーで皆の意見を集約して診断や治療にあたっております。診断が難しい間質性肺炎は病理、放射線、呼吸器の各専門医が集まって行う集学的検討(MDD: multidisciplinary discussion)により診断されます。ガイドラインや最新の研究成果を積極的に取り入れ、患者にとって最良の医療を提供することを目標とした診療に取り組んでいます。睡眠時無呼吸症候群に対する在宅陽圧呼吸療法、慢性呼吸不全に対する在宅酸素療法、禁煙外来も保険適用で行っています。外来で治療可能な悪性腫瘍については積極的に外来通院治療を行っています。また、県内の施設との連携を積極的に進めており、当科で診断、治療方針を決めた後に、自宅に近い施設での継続診療を行うことも可能です。県内の重症患者はヘリ搬送による受け入れが可能です。

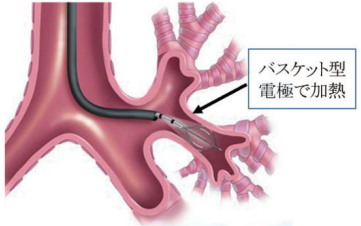
主な検査

- 画像診断: 胸部単純X線写真や胸部CTを用いた検査を行います。
- 呼吸機能検査: 肺活量、一秒量、拡散能、気道抵抗、呼気NO検査も検査可能です。
- 気管支鏡検査: 通常1泊の検査入院をお願いしております。
- 局所麻酔下胸腔鏡検査: 原因不明の胸水、胸膜疾患の診断を局所麻酔で行うことが可能です。
- 睡眠時無呼吸検査: 簡易モニター(自宅)と精密モニター(入院検査)があります。
- 禁煙外来: 適応がある方には保険診療としての禁煙治療が可能です。
- がんの遺伝子検査: 肺癌に関しては保険診療で認められている遺伝子検査はすべて実施することが可能です。また、自費診療で「がんゲノム検査」(網羅的遺伝子解析)の実施も可能です。

お知らせ

- 気管支喘息に対する気管支サーモプラスティを始めました(Ⓐ)
気管支サーモプラスティでは従来の薬物治療を行っても症状が持続する患者さんの喘息発作症状の緩和が期待できます。
- 間質性肺炎専門外来(火曜、金曜)
肺線維症はこれまで治療が困難とされてきましたが、近年承認された複数の抗線維化薬は呼吸機能の低下を抑制することが証明されています。非常に有望な薬剤ではありますが、専門医による適正な評価を行った後に投与を行うことが必要です。高価な薬剤であります。2015年1月から、難病の医療費助成制度が変更され、これまで、その費用から新規薬剤の恩恵を受けられなかった患者さんも、治療が導入しやすくなりました。当科では治療だけでなく、医療サービス課とも協働し、難病申請、医療費助成申請のお手伝いをいたします。
- 局所麻酔下胸腔鏡検査を始めました。
これまで胸水検査のみでは診断が困難な場合は、全身麻酔下に胸腔鏡検査を行っていました。局所麻酔下胸腔鏡検査は処置の時間が1時間程度であり、全身麻酔を用いないため患者さんへの負担も少なくすみます。対象となるのは原因不明の胸水を有する疾患全般です。
- 肺がんのプレジジョン医療を行なっています(Ⓑ)。
本学が中心となって行う肺がんの医師主導治験を行っています。国立がん研究センターに、気管支鏡検査などで採取したがん細胞から、効果が期待される遺伝子情報を探索するLC-SCRUM-Japanの参加施設になっており、全国規模の肺がん遺伝子診断ネットワーク臨床研究を行っています。また、当院にはがんゲノム医療センターがあり、自費診療で網羅的遺伝子解析検査「プレジジョン検査」の申し込みも受け付けています。

気管支サーモプラスティ(BT)は、重症喘息患者の喘息症状の緩和を目的として行う気管支鏡下の手技です。 (A)



バスケット型電極で加熱

吸入薬で喘息症状がコントロールできない18歳以上の重症喘息患者さんが対象となります。

精密医療(Precision medicine)の時代へ突入しました！ (B)

患者個人の詳細な医療情報にもとづく治療を行うことで、より効果が高く、副作用の少ない医療が可能な時代です。肺がんでは、がん細胞に生じたドライバー遺伝子と呼ばれる遺伝子の異常が見つかった場合は、腫瘍が縮小する可能性が極めて高い薬剤による治療を受けることができます。

気管支喘息やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)などの一般的な病気についても、病状の適正な評価を行うことで、症状が軽くなり、日常生活がより良いものとなる可能性があります。